

フタトゲチマダニ

フタトゲチマダニ									活動時期		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
←————— —————→											

牧場などの放牧牛に寄生して吸血し、被害を与えるマダニ類の代表的な種です。ウシ、イヌなどの鳥獣やヒトから吸血します。イネ科植物の茎や葉に群（む）れて、動物が通るのを待ちます。

ペットの散歩から帰ってきた飼い主が、ペットの体に大きく膨（ふく）れたマダニ類を発見し、寄生に気がつくことが多いです。その他、室内で大きく膨れた状態のマダニ類が発見される場合もあります。



フタトゲチマダニ雌成虫
吸血前 体長：約3mm
吸血後 体長：約10mm

マダニ類は、大型(数 mm から約10mm)で、山野で生活するダニの仲間です。室内に大量発生し、アレルギー等で問題となるダニ類(肉眼でやっとわかるほど小さい)とは異なります。

◎ ペットの散歩から帰ったら、マダニ類がついているかチェックしましょう

<ペットの予防> かかりつけの獣医師に相談しましょう

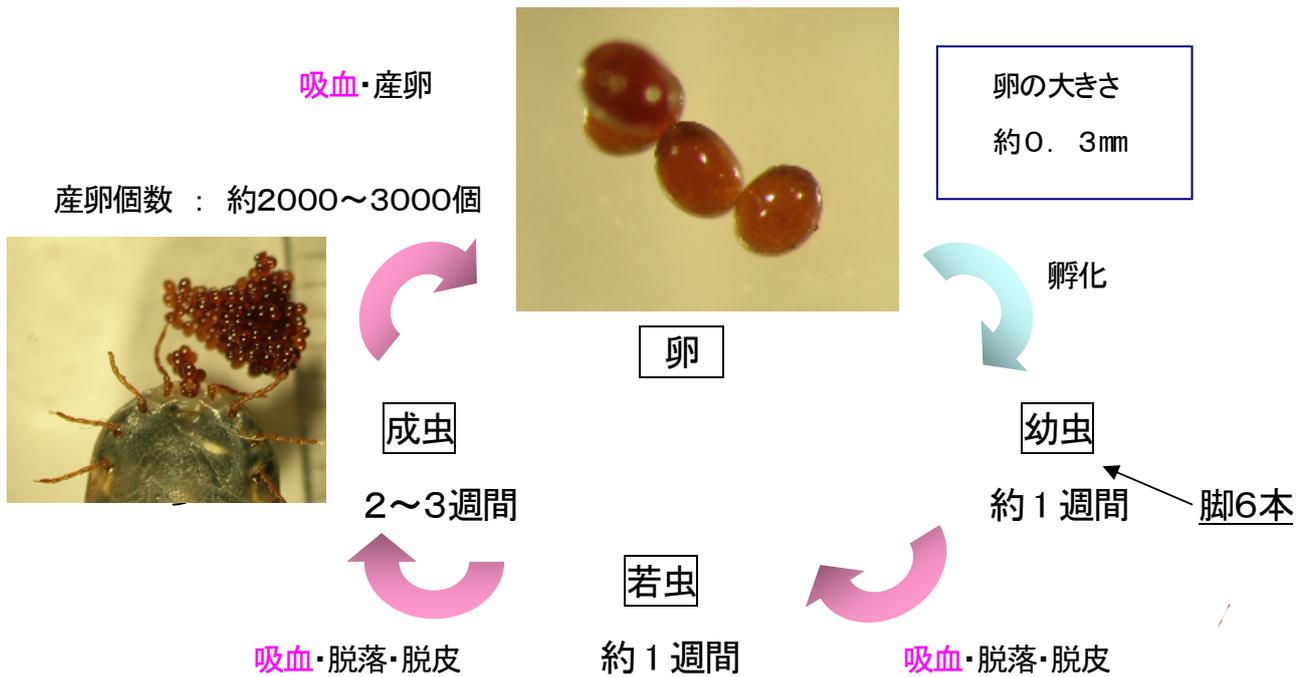
- 駆除剤の使用
- ノミ・ダニ取り首輪などの予防対策
- 家屋や犬舎の整備（壁の割れ目の修理、敷物の頻繁な交換など）



よぼう 予防

- 野山、畑、草むらなどへ出かけるときは、長袖、長ズボン、手袋を着用しましょう
- 厚手の靴下をはき、直接地面にすわらないようにしましょう
- むやみに藪(やぶ)などに入らないようにしましょう
- 帰宅後は、すぐに入浴をして、体にマダニがついていないかチェックし、新しい衣服に着替えましょう

生態



☆ 吸血：幼虫, 若虫, 成虫(卵以外)



- 活動開始時期：草地の丈が10cm以上になる頃（5月頃）…幼虫, 若虫, 成虫
(草上で新しい宿主に遭遇(そうぐう)する機会(きかい)を待ちます)
- 吸血, 飽血(ほうけつ), 脱落, 脱皮をくりかえし成虫になります
- 初秋ごろは幼虫の数が最も増える時期です
- 吸血できない飢餓(きが)状態では, 約1ヵ月生存できるといわれていますが,
寄生する宿主に出会うことができない場合は餓死(がし)します
- 越冬(えっとう): 未吸血の状態, 落葉の下などに隠(かくれ)ています…幼虫, 若虫, 成虫
- 寿命は1年から2年くらい

■ 産卵

吸血・飽血状態から約1カ月以内におこなわれます。産卵後、平均3日後に雌成虫は死にます。



さんらんちゅう
産卵中のフタゲチマダニ



さんらんご からだ ちい
産卵後、体が小さくなったフタゲチマダニ

■ マダニに咬まれたとき

- マダニは一度咬むと簡単に皮膚から離れません。自分でマダニを取ろうと無理に引っ張るとマダニの顎(あご)の部分がちぎれて皮膚内に残り、炎症の原因となることがありますので、医療機関で取り除いてもらいましょう。

■ 早期発見、早期治療が大切！

野外活動(ハイキング、山林作業など)をしてから数日後に、発熱、発疹(はっしん)や関節痛などの症状がある場合は医療機関を受診しましょう。(野外活動をしたことや、マダニに咬まれたことがあれば、そのことも伝えましょう。)

<参考図書・文献>

- 加納六郎 著 : 「節足動物と皮膚疾患」(1999)
- 国立感染症研究所ホームページ
- 江原昭二 編 : 日本ダニ類図鑑 (1980)
- 高田伸弘 著 : 病原ダニ類図譜 (1990)
- 板垣博 今井壮一 大塩行夫 著 : 獣医衛生動物学ノート (1995)
- 佐伯英治 : マダニの生物学, 日本獣医畜産大学獣医寄生虫学教室 HP
- 山梨県福祉保健部衛生薬務課 衛生公害研究所 : 身のまわりの虫たち(2001)